

【書写】

# 書 写

## 1 調査の対象となる教科書の発行者及び教科書名

発行者の番号及び略称		教科書名
2	東 書	新編 新しい書写 一・二・三年
11	学 図	中学校 書写
15	三 省 堂	現代の書写一・二・三
17	教 出	中学書写
38	光 村	中学書写 一・二・三年

## 2 教科書の調査研究における観点、視点及び調査方法

観点		視点	方法
(ア)	基礎・基本の定着	① 単元の目標の示し方	単元ごとの目標の示し方と目標の数
		② 姿勢、執筆法、用具の扱いの示し方	正しい姿勢や執筆法、用具の扱い方の写真・イラスト等
		③ 伝統と言語文化に関する内容の記述	書写の歴史に関する資料等の内容及びページ数、伝統的な言語文化に関する内容及びページ数
(イ)	主体的に学習に取り組む工夫	④ 興味・関心を高めるための工夫	興味・関心を高めるコラムや資料
		⑤ 見通しを立てたり、振り返ったりする学習のための構成上の工夫	見通しを立てて学習するための構成上の工夫及び自己評価の仕方
(ウ)	内容の構成・配列・分量	⑥ 単元・教材や資料等の配列	総ページ数、毛筆教材数及び毛筆教材例、硬筆記入欄のページ数
		⑦ 発展的な学習の扱い方	発展的な資料の表記・配置、単元名、ページ数及び内容の扱い
(エ)	内容の表現・表記	⑧ 本文記述との関連付けがなされた図・写真、イラストの活用	図・写真、イラストによる筆使い等の示し方
(オ)	言語活動の充実	⑨ 学習や日常生活に生きる言語活動の工夫	学習や日常生活と関連付けがなされた単元の数、単元名、教材名

【書写】

<b>観点</b>	(ア) 基礎・基本の定着
<b>視点</b>	①単元の目標の示し方
<b>方法</b>	単元ごとの目標の示し方と目標の数

第1学年「行書」				
	単元	毛筆の教材	上段：目標の示し方 下段：目標の例	目標の数
東 書	行書	「大洋」「和音」	○ 「目標」と明記して、小单元ごとに示している。	2
			○ 「行書の動きのパターンと形の特徴を理解しよう。」	
学 図	行書を書こう	「栄光」「草原」	○ 「目標」と明記せず、小单元ごとに示している。	4
			○ 「点画の連続と変化に注意しよう」	
三省 堂	行書で書こう	「名作」「永久」	○ 「目標」と明記して、示している。	1
			○ 「行書の基礎的な特徴を理解して書く。」	
教 出	行書で書いてみよう	「和」「大」「大木」「栄光」「平和」	○ 「目標」と明記して、小单元ごとに示している。	5
			○ 「点画の連続と形の変化を理解して書こう。」	
光 村	行書の書き方を学ぼう	「緑」「木立」「月光」	○ 「目標」と明記して、小单元ごとに示している。	4
			○ 「行書の特徴を知り、筆使いを理解して書く。」	

【書写】

<b>観点</b>	<b>(ア) 基礎・基本の定着</b>
<b>視点</b>	②姿勢，執筆法，用具の扱いの示し方
<b>方法</b>	正しい姿勢や執筆法，用具の扱い方の写真・イラスト等

	正しい姿勢や執筆法，用具の扱い方の写真・イラスト等	ページ数
<b>東 書</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 姿勢（毛筆・硬筆）の写真，傾いた姿勢のイラスト</li> <li>○ 鉛筆・チョークの持ち方の写真・イラスト</li> <li>○ 大筆（懸腕法・双鉤法・単鉤法）・小筆（提腕法・枕腕法）の持ち方の写真・イラスト</li> <li>○ 筆の部分の名称の記述</li> <li>○ 用具の置き方，墨のすり方，後かたづけの写真</li> </ul>	3
<b>学 図</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 姿勢（毛筆・硬筆）の写真</li> <li>○ 腕の構え方（懸腕法・提腕法・枕腕法）筆の持ち方（双鉤法・単鉤法）の写真</li> <li>○ 筆の各部の名称と働き，墨のすり方の写真</li> </ul>	1
<b>三省堂</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 姿勢（毛筆）の写真，大筆（懸腕法・双鉤法・単鉤法）・小筆（提腕法・枕腕法）の持ち方の写真</li> <li>○ 鉛筆の適切な持ち方の写真，不適切な持ち方の写真</li> <li>○ 用具の置き方と名称，墨のすり方，用具の片付け方のイラスト</li> </ul>	3
<b>教 出</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 姿勢（毛筆）の写真，大筆（懸腕法・双鉤法・単鉤法）・小筆（枕腕法・提腕法）の持ち方の写真</li> <li>○ 鉛筆・ボールペンの持ち方の写真</li> <li>○ 用具の置き方，墨の持ち方とすり方の写真，筆の各部の名称と写真</li> <li>○ 用具の後片づけの写真</li> <li>○ 姿勢のチェック欄</li> </ul>	3
<b>光 村</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 姿勢（毛筆）の写真，大筆（双鉤法・単鉤法）・小筆（提腕法・枕腕法）の持ち方の写真，姿勢のチェック欄</li> <li>○ 鉛筆の持ち方の写真</li> <li>○ 用具の置き方と名称，筆の各部の名称</li> <li>○ 用具（大筆・小筆・硯）の片付け方の写真</li> </ul>	2

【書写】

<b>観点</b>	(ア) 基礎・基本の定着
<b>視点</b>	③伝統と言語文化に関する内容の記述
<b>方法</b>	書写の歴史に関する資料等の内容及びページ数, 伝統的な言語文化に関する内容及びページ数

	書写の歴史に関する資料等の内容	ページ数	伝統的な言語文化に関する内容	ページ数	
東 書	日本の用具の発達と文字の文化	2	古文「竹取物語」	1	
	用具・用紙のできるまで	2	いろは歌	1	
東 書	漢字の成り立ちと移り変わり	2	古文「枕草子」	1	
			古文「平家物語」	1	
			古文「おくのほそ道」	1	
			漢文「九成宮醴泉銘」「蘭亭序」「書譜」	1	
			古文「方丈記」「粘葉本和漢朗詠集」		
			漢文「蘭亭序」, 和歌「蓬萊切」	1	
			短歌・和歌	4	
	学 図	時代と文字	1	漢文「九成宮醴泉銘」	1
		筆のできるまで	1	楷書いろは歌	2
				古文「竹取物語」	1
			漢文「蘭亭序」	1	
			行書いろは歌	2	
三 省 堂	文化としての「書く」	1	古文「枕草子」	1	
	書の名手たち	1	いろは歌	2	
	文字の変遷	3	古文「竹取物語」	1	
	文房四宝	1	短歌	1	
教 出	筆, 墨, 硯, 紙について知ろう	2	楷書いろは歌	2	
	文字は残る	2	古文「竹取物語」	2	
	文字の変遷	2	行書いろは歌	2	
	あの人が残した文字	2	和歌「古今集」	1	
	日本建築と「書」	2	漢文「論語」	1	
	芸術としての書道	1	和歌「古今和歌集」短歌	2	
			古文「枕草子」	2	
			古文「平家物語」	2	
光 村	文字の歴史を探る	2	古文・俳句「おくのほそ道」	2	
	先人の文字に学ぶ	1	楷書いろは歌	2	
	筆・紙・墨・硯ができるまで	1	短歌	1	
			行書いろは歌	3	
			古文「平家物語」	1	
		古文「枕草子」	1		
		和歌・俳句	2		

【書写】

<b>視点</b>	(イ) 主体的に学習に取り組む工夫
<b>視点</b>	④興味・関心を高めるための工夫
<b>方法</b>	興味・関心を高めるコラムや資料

	興味・関心を高めるためのコラムや資料	ページ数
東書	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 手書き文字と印刷文字の違い</li> <li>○ 楷の木</li> <li>○ 用具・用紙のできるまで</li> <li>○ 平仮名の始まりといろは歌</li> <li>○ 俳句や短歌を書くとき</li> <li>○ のしとのし袋</li> <li>○ 身の回りの文字を探そう</li> </ul>	9
学図	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ なぜ毛筆で学習するの？－自分の「課題」を理解する－</li> <li>○ 楷書のいろいろな書き方</li> <li>○ 時代と文字</li> <li>○ 書き文字と活字</li> <li>○ 頭語と結語</li> <li>○ 筆ができるまで</li> </ul>	6
三省堂	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 文字の変遷</li> <li>○ 文房四宝</li> <li>○ 自分の文字</li> </ul>	5
教出	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 筆、墨、硯、紙について知ろう</li> <li>○ 文字は残る</li> <li>○ 文字の変遷</li> <li>○ 暮らしの文字を支える人々</li> <li>○ あの人が残した文字</li> <li>○ 日本建築と「書」</li> <li>○ 社会で生きる文字</li> </ul>	12
光村	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 文字の歴史を探る</li> <li>○ 季節のしおり1</li> <li>○ 季節のしおり2</li> <li>○ デザインと文字</li> <li>○ 手書きの力</li> <li>○ 筆・紙・墨・硯ができるまで</li> </ul>	11

【書写】

<b>観点</b>	(イ) 主体的に学習に取り組む工夫
<b>視点</b>	⑤見通しを立てたり、振り返ったりする学習のための構成上の工夫
<b>方法</b>	見通しを立てて学習するための構成上の工夫及び自己評価の仕方

	見通しを立てて学習するための構成上の工夫	自己評価の仕方
<b>東書</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学習の目標と自分の課題を確認する               <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習の目標を確かめよう。</li> <li>・学習の目標について、調べたり、考えたりしよう。</li> </ul> </li> <li>○ 課題を解決するために練習する               <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習した内容を確認めよう。</li> <li>・学習したことをほかの文字に広げよう。</li> </ul> </li> <li>○ 振り返る               <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習を振り返り、目標を達成できたか評価しよう。</li> </ul> </li> <li>○ 活用する               <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活の中のさまざまな場面に生かそう。</li> </ul> </li> <li>○ 発展</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各教材のページ下部に「振り返ろう」として評価の観点を示している。その観点到沿って「できた」「○」,「もう少し」「△」で自己評価を記入する。</li> </ul>
<b>学図</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 試し書き               <ul style="list-style-type: none"> <li>・手本を見ながら試し書きをする。</li> </ul> </li> <li>○ 練習               <ul style="list-style-type: none"> <li>・試し書きと手本を見比べて、自分の課題を見つけ、練習をする。</li> </ul> </li> <li>○ まとめ書き               <ul style="list-style-type: none"> <li>・練習の成果を確認するために、課題に気をつけながらまとめ書きをする。</li> </ul> </li> <li>○ 硬筆で書く               <ul style="list-style-type: none"> <li>・毛筆で学習したことを意識して、硬筆で練習する。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各単元末に「振り返って」として評価の観点を示している。</li> </ul>
<b>三省堂</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学習の見通しをもつ。               <ul style="list-style-type: none"> <li>・目標</li> </ul> </li> <li>○ 学習する。(毛筆と硬筆を使って練習する)               <ul style="list-style-type: none"> <li>・考えよう・話し合おう</li> <li>・書いて確かめよう</li> <li>・振り返ろう</li> </ul> </li> <li>○ 復習する。(硬筆で書く)               <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習のまとめ</li> </ul> </li> <li>○ 学習を生かして主体的に書く。               <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活に生かそう</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各教材末に「振り返ろう」として評価の観点を示している。</li> </ul>
<b>教出</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 目標               <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習の目標を確かめよう。</li> </ul> </li> <li>○ 試し書き</li> <li>○ 考えよう               <ul style="list-style-type: none"> <li>・試し書きと教科書の文字とを比べ、自分の課題を見つけよう。</li> <li>・自分の課題に向かって、毛筆で練習しよう。</li> </ul> </li> <li>○ 生かそう               <ul style="list-style-type: none"> <li>・毛筆で学習したことを、硬筆で他の文字に生かして書こう。</li> </ul> </li> <li>○ まとめ書き</li> <li>○ 振り返ろう               <ul style="list-style-type: none"> <li>・課題ができたかどうかを自己評価し、学習を振り返ろう。</li> </ul> </li> <li>○ 学習や日常生活に生かそう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各教材末に「振り返ろう」として評価の観点を示している。その観点到沿って「できた」「○」,「もう少し」「△」で自己評価を記入する。</li> </ul>
<b>光村</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学習の見通しをもつ               <ul style="list-style-type: none"> <li>・目標</li> </ul> </li> <li>○ 学習・活動に取り組む</li> <li>○ 学習の窓</li> <li>○ 次の学習に生かす               <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習を振り返る</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各教材末に「学習を振り返る」として評価の観点を示している。その観点到沿って「できた」「○」,「もう少し」「△」で自己評価を記入する。</li> </ul>

【書写】

<b>観点</b>	(ウ) 内容の構成・配列・分量
<b>視点</b>	⑥単元・教材や資料等の配列
<b>方法</b>	総ページ数, 毛筆教材数及び毛筆教材例, 硬筆記入欄のページ数

	学年	総ページ数	毛筆教材数	第1学年の毛筆教材例	硬筆記入欄のページ数
東書	1	44 巻末折込	5	「大志」「夏山の緑うつりし小窓かな」「大洋」「和音」「夢の実現」	14
	2	34 巻末折込	5		7
	3	18 巻末折込	2		0
学図	1	44	8	「天地」「登頂成功」「ぶなの森」「いろは歌」「栄光」「草原」「輝け未来」「自主独立」	12
	2	32	8		3
	3	30	4		0
三省堂	1	40	7	「春光」「若枝」「いろは歌」「夏めく空」「名作」「永久」「輝く生命」	14
	2	30	4		8
	3	12	1		0
教出	1	60	6	「天地」「いろは歌」「大木」「栄光」「平和」「新たな決意」	10
	2	40	5		10
	3	17	3		2
光村	1	28	6	「地球」「いろは歌」「目には青葉山ほととぎす初がつを」「木立」「月光」「不言実行」	6
	2	20	5		4
	3	13	2		0

【書写】

<b>観点</b>	(ウ) 内容の構成・配列・分量
<b>視点</b>	⑦ 発展的な学習の扱い方
<b>方法</b>	発展的な資料の表記・配置, 単元名, ページ数及び内容の扱い

	表記・配置	単元名	ページ数	内容の扱い
東書	○ 巻末に「発展」として掲載している。	○ 「古典から学ぼう」	2	○ 高等学校の内容として、唐の四大家の文字の比較を扱っている。
学図	○ 第1, 3学年に「発展」として掲載している。	○ 第1学年: 「九成宮醴泉銘」 「蘭亭序」	2	○ 高等学校の内容として、古典の書家, 篆刻を扱っている。
		○ 第3学年: 「臨書を体験しよう」 「篆刻を体験しよう」	5	
三省堂	○ 第2学年に「発展」として掲載している。	○ 第2学年: 「書の名手たち」	1	○ 高等学校の内容として、唐の書家, 平安時代の日本の書家を扱っている。
教出	○ 各学年と巻末に「発展」として掲載している。	○ 第1学年: 「行書で書いてみよう」	1	○ 第1学年では第2学年の内容として行書と仮名の調和を, 第2, 3学年, 巻末は古典を扱っている。
		○ 第2学年: 「行書と仮名を調和させて書いてみよう」 「日本建築と『書』」	3 1	
		○ 第3学年: 「行書と仮名を調和させて書こう」	1	
		○ 巻末: 「芸術としての書道」		
光村	○ 第3学年に「発展」として掲載している。	○ 第3学年: 「先人の文字に学ぶ」	1	○ 高等学校の内容として、魏, 東晋, 唐, 北宋, 清の書家, 平安時代の日本の書家を扱っている。

【書写】

<b>観点</b>	(エ) 内容の表現・表記
<b>視点</b>	⑧本文記述との関連付けがなされた図・写真, イラストの活用
<b>方法</b>	図・写真, イラストによる筆使い等の示し方

第1学年「行書」		
	図・写真	イラスト
<b>東 書</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 行書の動きのパターンを4つに整理し, 文字のどの部分に動きのパターンが生かせるかを書き込ませるようになって</li> <li>いる。</li> <li>○ 教材の右側に動きのパターンと形の特徴を「書くときのポイント」として示している。</li> <li>○ 行書の形の特徴を赤の点線で囲み, 強調している。</li> <li>○ 薄墨と朱の二色で, 筆使いを示している。また, 筆脈を青の点線で示し, 形の特徴で注意すべき点を書いている。</li> <li>○ 楷書と行書を比較している。</li> <li>○ 写真で筆使いを示している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 三人のキャラクターが, ヒントとなる事例や注意事項を解説している。</li> </ul>
<b>学 図</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 書き順を数字で示し, 筆脈を赤の矢印で示している。</li> <li>○ 形の特徴を赤字で書いている。</li> <li>○ 薄墨と朱の二色で, 行書の基本点画を示している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 二人のキャラクターが, 行書を書くときの注意や振り返りを促している。</li> </ul>
<b>三省 堂</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 楷書と行書を比較している。</li> <li>○ 行書の特徴を青の矢印, 囲み, 青字による書き込みで示している。また, 筆脈を青の点線で示している。</li> <li>○ 薄墨と朱の二色で, 筆使いを示している。</li> <li>○ 写真で筆使いを示している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 三人のキャラクターが, ヒントとなる事例や注意事項を解説している。</li> </ul>
<b>教 出</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 楷書と行書を比較している。また, 筆順や形の特徴, 筆脈を書いている。</li> <li>○ 薄墨と朱の二色で, 筆使いを示している。また, 書き順や筆脈など, 注意する点を書いている。</li> <li>○ 写真で筆使いを示している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 二人の生徒が, 注意事項を解説している。</li> </ul>
<b>光 村</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 楷書と行書を比較し, 筆使いや筆圧の違いを示している。</li> <li>○ 薄墨と朱の二色で筆使いを示し, 行書の特徴を丸で囲み, 赤の太字で書いている。</li> <li>○ 筆脈を青の点線で示している。</li> <li>○ 写真で筆使いを示している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 二人の生徒が, 印象を話している。</li> </ul>

【書写】

<b>観点</b>	<b>(オ) 言語活動の充実</b>
<b>視点</b>	⑨学習や日常生活に生きる言語活動の工夫
<b>方法</b>	学習や日常生活と関連付けがなされた単元の数、単元名、教材名

	学年	単元の数	単元名	教材名
東書	1	5	○ 生活に広げよう (3) ○ 生活を豊かにする文字 ○ 書いて味わおう	「目標を書こう」「年賀状を書こう」「書き初めをしよう」「職場訪問をしよう」 「竹取物語」
	2	5	○ 生活に広げよう (2) ○ 楷書と行書 ○ 生活を豊かにする文字 ○ 書いて味わおう	「好きな言葉を書こう」「書き初めをしよう」「楷書と行書の使い分け」「掲示物を書こう」「防災訓練に参加しよう」「平家物語」
	3	5	○ 身近にある文字を調べよう ○ 効果的に書こう ○ 生活を豊かにする文字 ○ 書いて味わおう ○ 生活に広げよう	「多様な文字」「ノートを書くときに」「絵はがきや電子メールを出すときに」「ポスターを作るときに」「文化祭や卒業に向けて」「おくのほそ道」「書き初めをしよう」
学図	1	1	○ 書き初めをしよう	「輝け未来」「自主独立」
	2	2	○ 行書と仮名を書こう ○ 書き初めをしよう	「確かめよう」 「目標達成」「宇宙の神秘」
	3	3	○ 書写を生かそう (2) ○ 書き初めをしよう	「書写を生活に生かそう」 「作品を作ろう」 「大志を抱け」「旅立ちの春」
三省堂	1	3	○ 生活に生かそう (2) ○ 書き初め	「行事の目標を書こう」「本を紹介しよう」 「書いたもので交流しよう」「輝く生命」
	2	4	○ 生活に生かそう (2) ○ 書体を使い分けよう ○ 書き初め	「手紙を書こう」「生活の場面と書体について考えよう」「座右の銘を書こう」 「燃ゆる思い」
	3	3	○ 効果的に書こう ○ 生活に生かそう ○ 書き初め	「身のまわりの文字を工夫を見つけよう」 「学習のまとめ」「卒業記念冊子を作ろう」 「旅立ちの時」
教出	1	4	○ 楷書と仮名を調和させて書こう ○ 文字で心を伝えよう ○ 行書で書いてみよう ○ 書き初めを書く	「学習を生かして書く－一行の中心－」「感謝の気持ちを伝えよう」「願いや祈りを伝えよう」「学習を生かして書く－配列－①原稿用紙に書く②レポートの形式に書く③手紙を書く」「学校生活に生かして書く」「学習を生かして書く－配列－①年賀状を書く」「新たな決意」
	2	4	○ 行書と仮名を調和させて書いてみよう ○ 学習活動や日常生活に生かして書こう ○ 文字で心を伝えよう ○ 書き初めを書く	「文字の大きさと配列(色紙、短冊)」「書く速さを意識して書く」「学習を生かして書く－行書と仮名の調和と配列－」「さまざまな書く場面」「応援しよう」「決意を伝えよう」「学習を生かして書く①新聞を書く②掲示物(ポスター)に案内を書く③案内状を書く」「夢を信じる」
	3	3	○ 行書と仮名を調和させて書こう ○ 身の回りの多様な文字に関心を持ち、効果的に文字を書こう ○ 書き初めを書く	「学習を生かして書く－配列－(俳句)」 「多様な表現による文字」「三年間の学習の成果を生かそう(卒業カレンダー)(メッセージカード)」 「友好の精神」
光村	1	1	○ 書き初め	「不言実行」
	2	2	○ 楷書か行書かを選択して書こう ○ 書き初め	「楷書と行書の使い分け」 「新たな目標」
	3	3	○ 目的に応じて効果的に書こう ○ 学習したことを生かして書こう ○ 書き初め	「文字を効果的に使うために」 「未来に向かって」 「無限の可能性」